経営比較分析表（令和5年度決算）

兵庫県公立豊岡病院組合　公立朝来医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	**診療科数**	**DPC対象病院**	**特殊診療機能　※１**	**指定病院の状況　※２**
直営	11	-	訓	救 輪
人口（人）	**建物面積（㎡）**	**不採算地区病院**	**不採算地区中核病院**	**看護配置**
-	13,699	第２種該当	-	１０：１

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
104	45	-
許可病床（精神）	**許可病床（感染症）**	**許可病床（合計）**
-	-	149
最大使用病床（一般）	**最大使用病床（療養）**	**最大使用病床（一般＋療養）**
84	37	121

※１　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ 未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療

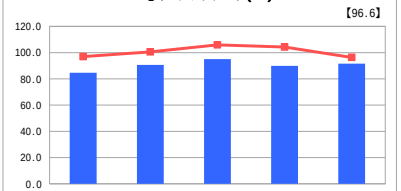
※２　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院　地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

グラフ凡例
- ■　当該病院値（当該値）
- ー　類似病院平均値（平均値）
- 【】　令和5年度全国平均

1．経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)

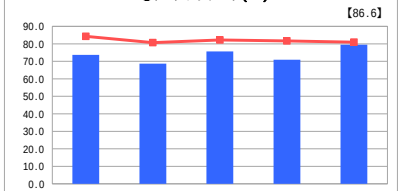
【96.6】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	84.6	90.6	95.0	89.9	91.6
平均値	96.9	100.6	105.9	104.3	96.3

②医業収支比率(%)

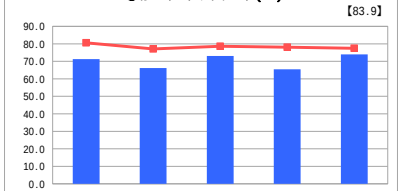
【86.6】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	73.7	68.7	75.7	70.9	79.5
平均値	84.3	80.7	82.2	81.7	81.0

③修正医業収支比率(%)

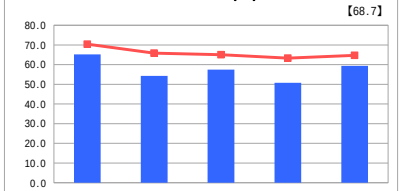
【83.9】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	71.3	66.2	73.1	65.5	74.0
平均値	80.6	77.1	78.6	78.1	77.5

④病床利用率(%)

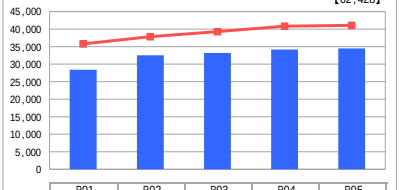
【68.7】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	65.2	54.3	57.5	50.8	59.4
平均値	70.4	65.8	65.0	63.3	64.7

⑤入院患者１人１日当たり収益(円)

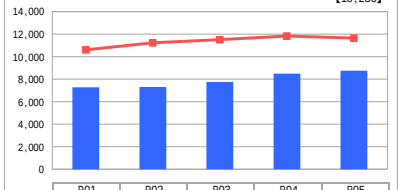
【62,428】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	28,404	32,532	33,187	34,180	34,475
平均値	35,788	37,855	39,289	40,846	41,075

⑥外来患者１人１日当たり収益(円)

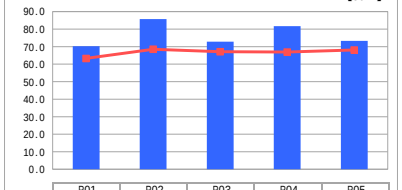
【18,236】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	7,284	7,311	7,745	8,493	8,747
平均値	10,602	11,234	11,512	11,831	11,652

⑦職員給与費対医業収益比率(%)

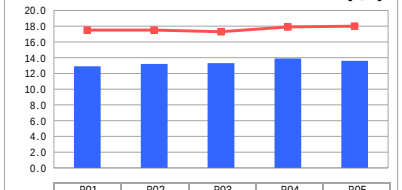
【56.1】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	70.2	85.7	72.8	81.7	73.3
平均値	63.3	68.5	67.1	66.9	68.1

⑧材料費対医業収益比率(%)

【26.4】

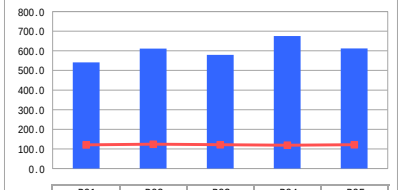


	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	12.9	13.2	13.3	13.9	13.6
平均値	17.5	17.5	17.3	17.9	18.0

2．老朽化の状況

⑨累積欠損金比率(%)

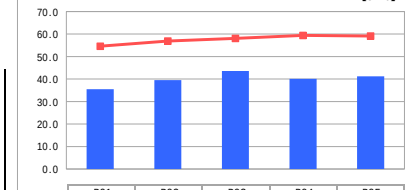
【54.5】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	541.2	611.2	579.6	675.1	611.9
平均値	120.5	124.2	121.6	118.9	121.9

①有形固定資産減価償却率(%)

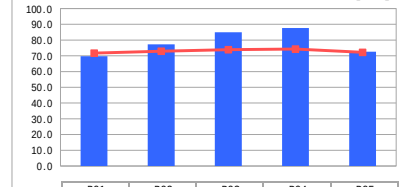
【57.0】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	35.5	39.5	43.6	40.1	41.2
平均値	54.6	56.9	58.1	59.4	59.1

②器械備品減価償却率(%)

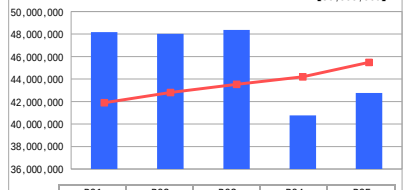
【70.4】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	69.7	77.3	84.9	87.6	72.6
平均値	71.7	72.9	73.9	74.3	72.2

③１床当たり有形固定資産(円)

【50,999,060】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	48,176,247	48,018,647	48,365,718	40,771,349	42,759,268
平均値	41,891,213	42,806,727	43,530,781	44,196,357	45,484,013

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化（従来の再編・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

Ⅰ　地域において担っている役割

平成28年5月に梁瀬医療センターと和田山医療センターを統合し、新病院として開院した。南但馬の中核病院として、行政や地元開業医との連携を図り地域完結型医療を提供する。
また、リハビリテーション等の回復期機能の充実を図り、豊岡病院の後送病院として転院患者の受け入れと在宅復帰支援を推進する。

Ⅱ　分析欄

1．経営の健全性・効率性について

病床数に対して医師が不足しており、病床利用率(④)は平均値を下回っている。それに伴い収益は低迷する一方、入院機能を維持するために一定数の職員を配置しなければならず、給与費比率(⑦)は平均値よりも高く、経常収支比率・医業収支比率(①②)は平均を下回っている。
令和5年度における病床利用率（④）は、前年度を上回りコロナ禍以降で最も高い値となっているが、以前として平均値を下回っている状況である。

2．老朽化の状況について

平成28年5月に新築移転したため、大規模な改修・建替えの予定はない。

全体総括

病床数に対する医師の不足と、それに伴う患者数の減、病床利用率の低下により、収支は赤字が続いている。医師確保に努めるとともに、新たな施設基準の取得や豊岡病院・診療所等との連携強化による転院・紹介患者の増加など収益の確保に取り組む。また、救急搬送患者の受け入れ拡大（令和4年度～）や、産婦人科外来開設(令和5年10月～)等、地域に必要な医療機能の強化を図る。